

5/15

平成18年(2006年)

No.862

# 広報 むこう

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう



●向日市役所(〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20) ●編集 秘書広報課 ●電話 075(931)1111 ●http://www.city.muko.kyoto.jp/

## 古墳時代にタイムスリップ

### 散策途中に文化資料館へ



文化資料館の玄関前には元稲荷古墳の天井石が置いてあります。また、ホールでは、江戸時代の物集女車塚古墳の絵図を5月16日から28日まで展示します。古墳めぐりの途中にお立ち寄りください。

### 古墳の頂上まで登ることができる 五塚原古墳(寺戸町大牧)

はり湖池西側の山頂にある全長約91mの古墳時代前期(4世紀前半)の前方後円墳。前方部は、古い古墳に多いバチ型をしています。

埋葬施設の発掘調査は行われておらず、詳しいことは分かっていませんが、他の古墳に比べ保存状態が良い重要な場所となっています。

はり湖池から芝山公園まで散策道があり、古墳の上まで登ることができます。



### 復元された石室を見学できる 物集女車塚古墳(物集女町南条)

物集女町と寺戸町の境、物集女街道(府道西京高槻線)沿いにある物集女車塚古墳は、向日丘陵から伸びる尾根の先端を利用して築かれた、6世紀中頃の前方後円墳です。

今から1,500年近く前の乙訓北部一帯を治めた豪族の墓と考えられています。

墳丘の傷みがひどかったため、平成4年から平成7年に保全工事を行い、石室の石材を一度解体して積み直しました。

それ以来、毎年5月に行っている石室内部の一般公開には、各地から歴史ファンをはじめ数多くの方が訪れ、その雰囲気を感じられています。

向日市には、向日丘陵を中心に多くの古墳がその形を今に残しています。太古のロマンに思いを馳せて古墳を散策してみませんか。物集女車塚古墳では、5月22日から26日まで普段はご覧にならない石室の一般公開を行います。



# 太古のロマン 古墳を訪ねて

### 乙訓地域で最初に築かれた古墳 元稲荷古墳(向日町北山)



向日神社北側、勝山公園の中にある元稲荷古墳は、乙訓地域最古の古墳で、3世紀後半に築かれた全長約94mの前方後方墳です。

墳輪の原形となる壺形墳輪や特殊器台形墳輪も前方部から出土しています。周辺には、弥生時代の高地性集落である北山遺跡があります。

古墳の周囲は公園として整備されており、市民の憩いの場となっています。春は咲き誇る桜を楽しむ方で賑わっています。

### 三角縁神獣鏡など貴重な副葬品が発見された 寺戸大塚古墳(寺戸町芝山)



第6向陽小学校から竹の径を行くと、左手に小高い丘があります。これが寺戸大塚古墳です。

4世紀前半に築かれた全長約98mの前方後円墳で、発掘調査で三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)など多くの副葬品が出土しました。前方部に葬られているのは、乙訓地域を掌握した大首長といわれています。

### 物集女車塚古墳石室一般公開

5月22日(月)～26日(金)

午前10時～正午・午後1時15分～4時30分

物集女車塚古墳(物集女町南条・物集女街道沿い)

●申込み/5月16日(火)～21日(日)に、文化資料館☎931-1182に電話でご予約ください。(午前10時～午後5時)

☎文化財調査事務所☎931-9901(午前8時30分～午後5時)

